

2026年5月1日
株式会社エフピコ

エフピコと生活協同組合コープかごしま 「エコストア協働宣言」を発表

～全国の生協として初。2027年3月期にCO2排出削減量「144t」を目標～

株式会社エフピコ（代表取締役会長:佐藤 守正、以下「エフピコ」）は、生活協同組合コープかごしま（理事長:上城 秀人、以下「生協コープかごしま」）と協働し、2026年5月1日付で持続可能な循環型社会の推進を目的とした「エコストア協働宣言」を発表いたしました。本宣言は、生協コープかごしまが展開する全19店舗において、お店を発着点とした水平リサイクル「ストアtoストア」の取り組みをさらに強化するものであり、エフピコと全国の生協との間で行われる初の取り組みとなります。



エフピコと生協コープかごしまはこれまで、「お店がその地域のエコリーダー」となることを目指し、生協コープかごしまの店舗に設置した回収ボックスを通じて、組合員および地域の皆さまから使用済み食品トレーならびに、ペットボトルの回収を行ってまいりました。回収された資源は、すべてエフピコのリサイクル工場にて資源化され、「エコトレー」や「エコAPET」などのエコ製品へと再生されます。これらの再生品を再び生協コープかごしまの売場で食品容器として使用する、用途を変えずに資源を循環させる「ストアtoストア」の水平リサイクルスキームを、今後も継続して実践してまいります。



回収ボックス



リサイクルの様子



エコトレー

今回の協働宣言を契機に、従来の循環スキームをさらに発展させ、地域を巻き込んだ取り組みへと強化します。具体的には、生協コープかごしまの売り場において「可能な限りのエコ製品の採用」へと使用範囲を拡大します。また、店頭での資源回収量を引き上げるため、環境ポスターの増設やCO2削減効果を示すポスターの掲示を行い、視覚的なPRを強化します。さらに、各店舗での環境イベントを実施し、組合員や地域住民のリサイクル参加を強力に後押しします。

前年度(2026年3月期)における実績は、食品トレー回収量**21.70t**、ペットボトル回収量**20.44t**であり、エコ製品の使用によるCO2排出削減量は**137.59t**に達しました。この度の活動強化により、2027年3月期の目標として、食品トレー回収量**22.0t**(前期比101.4%)、ペットボトル回収量**22.0t**(前期比107.6%)、そしてCO2排出抑制量**144.0t**(前期比104.7%)の達成を目指します。

エフピコおよび生協コープかごしまは、本取り組みを通じて組合員および地域の皆さまと共に地球資源の循環とCO2排出量の削減を推進し、環境負荷低減と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

【ご参考】

<株式会社エフピコ>

スーパーマーケットやコンビニエンスストアなどで使用される簡易食品容器を製造販売する国内最大手メーカーです。エフピコ方式のリサイクル「トレーtoトレー」「ボトルto透明容器」による地上資源の循環、及びCO2排出量削減、環境負荷の低い容器の開発による省資源化などを通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。

所在地:〒163-6036 東京都新宿区西新宿6丁目8番1号新宿オークタワー36階

代表者:代表取締役会長 佐藤 守正/代表取締役社長 安田 和之

H P:<https://www.fpc.jp/>

【リサイクル特設ページ】[エフピコ みんなでリサイクル](#)

<生活協同組合コープかごしま>

生協コープかごしまは「よりよい生活(暮らし)と平和のために」ひとりがみんなのために みんながひとりのために」をスローガンに、鹿児島の消費者一人ひとりが手をつなぎあい、自分たちの願いを実現するために作っている自発的な「協同」「助け合い」の組織です。

願いを実現するために、組合員自身がさまざまな取り組みをすすめる組織(集まり)を作り、またより多くの人が参加する取り組み・イベントを組合員自身の活動として準備し、実行しています。

所在地:〒890-0037 鹿児島県鹿児島市広木一丁目1番1号

代表者:理事長 上城 秀人

H P:<https://www.kagoshima.coop/>

以上

【本リリースに対するお問い合わせ先】

■株式会社エフピコ リサイクル推進部 TEL:03-5325-7559 FAX:03-5325-7767